



9

披露宴のたとえ

マタイ福音書22:1～14

■マタイ福音書22:1～4

イエスは彼らに対し、再びたとえをもって話された。

「天の御国は、自分の息子のために、結婚の披露宴を催した王にたとえることができます。

王は披露宴に招待した客を呼びにしもべたちを遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。

それで再び、次のように言って別のしもべたちを遣わした。

『招待した客にこう言いなさい。「私は食事を用意しました。私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整いました。

どうぞ披露宴においでください」と。』

10

披露宴のたとえ

マタイ福音書22:1～14

■マタイ福音書22:5～9

ところが彼らは気にもかけず、ある者は自分の畑に、別の者は自分の商売に出て行き、残りの者たちは、王のしもべたちを捕まえて侮辱し、殺してしまった。

王は怒って軍隊を送り、その人殺しどもを滅ぼして、彼らの町を焼き払った。

それから王はしもべたちに言った。『披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。

だから大通りに行って、出会った人をみな披露宴に招きなさい』

11

披露宴のたとえ

マタイ福音書22:1～14

■マタイ福音書22:10～14

しもべたちは通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。

王が客たちを見ようとして入って来ると、そこに婚礼の礼服を着ていない人が一人いた。

王はその人に言った。『友よ。どうして婚礼の礼服を着ないで、ここに入って来たのか。』しかし、彼は黙っていた。

そこで、王は召使いたちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて歯ぎしりすることになる。』

招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないのです。」

12

聞いて分かりましたか？

なぜ分からないのでしょうか？

主イエスのたとえに学ぼう

13

たとえがわかりづらい理由

① 私たちには、当時の当たり前が、当たり前でない

→ たとえの背景は、当時の人々には当たり前のこと
時代も文化も言語も違う私たちには当たり前でない

② 解説がないと分からない

→ メシアの解説があって始めて意味が理解できる
なんとなく読めば、勘違いするだけ

→ 直接の解説がない場合は？ 他の箇所ヒントが!!
聖書全体を理解している必要が!!

基本を押さえて、たとえに学ぼう

14

主イエスのたとえに学ぼう

① 当たら前に読む

～たとえの背景～

② 解説を聞く

～意味を理解する～

③ 適用する

～私の今につなげよう～



エルサレム神殿・再現図

聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

15

神殿で最後の吟味を受けるメシア

■ 過越の祭りで祭司のためにささげられる特別な子羊。
その**吟味の期間**、メシアは神殿で**最後の論争**を受ける。

■ ニサンの月の10日に、エルサレム入城。
翌11日、宮きよめ。

■ そして、12日、神殿での激しい論争が
パリサイ派、サドカイ派、律法学者、祭司たちと勃発!!

メシアの地上生涯最後の長い論争の一日の出来事

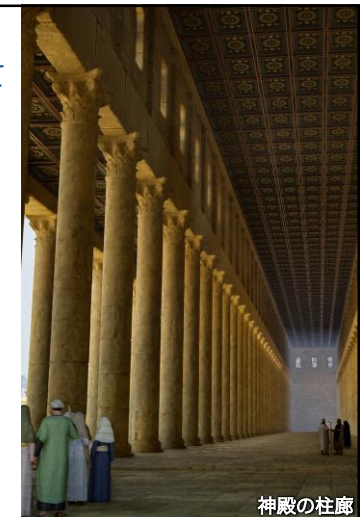
16



17

① 当たり前前に 再び マタイ22:1～2
イエスは彼らに対し、再びたとえをもって話された。

- 前章では、ぶどう園の二つのたとえが。
- メシアを拒絶した宗教指導者たちに、もはや真理が直接語られることはない。
- たとえを理解できるのは、主を信じ、聞き従う信仰者だけ。



18

① 当たり前前に 御国のたとえ 22:2～3

「天の御国は、自分の息子のために、結婚の披露宴を催した王にたとえることができます。王は披露宴に招待した客を呼びにしもべたちを遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。

- 聖書における王とは？
 - ① 神が立てた絶対権力者
 - ② 王からの招待は、名誉の極み、絶対の命令

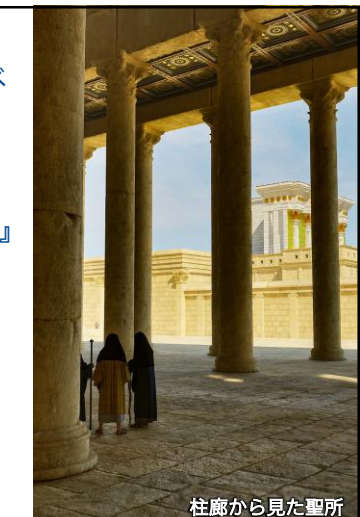


19

① 当たり前前に 別のしもべ マタイ22:4

それで再び、次のように言って別のしもべたちを遣わした。『招待した客にこう言いなさい。「私は食事を用意しました。私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整えました。どうぞ披露宴においでください」と』

- 王の招待の拒否は、無礼の極み。
 - ➡ 罰を受け、殺されても仕方ない
- にも関わらず、王からの度重なる招待
 - ➡ 招待客を異例の特別扱い



20

① 当たり前前に 反逆 マタイ22:5～7

ところが彼らは気にもかけず、ある者は自分の畑に、別の者は自分の商売に出て行き、残りの者たちは、王のしもべたちを捕まえて侮辱し、殺してしまった。

王は怒って軍隊を送り、その人殺しどもを滅ぼして、彼らの町を焼き払った。

- 招待の拒絶自体、王への反抗の現れ。
- 王の使者を侮辱し、殺すことは、
王に対する反逆、謀反。



神殿北側・隣接するアントニオ要塞

21

① 当たり前前に 新たな招待 22:8～9

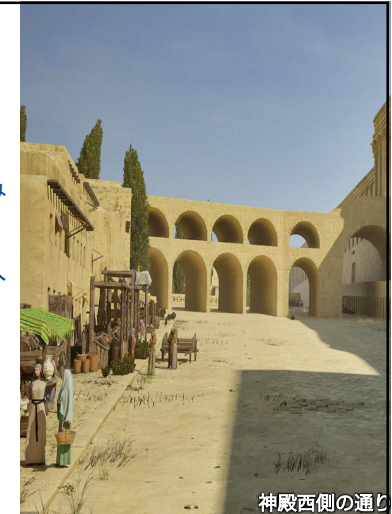
それから王はしもべたちに言った。

『披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。』

だから大通りに行って、出会った人をみな披露宴に招きなさい。』

しもべたちは通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。

- 王の宴に、だれもが無条件に招待。
→あり得ないこと!!



神殿西側の通り

22

① 当たり前前に 礼服 マタイ22:11～12

王が客たちを見ようとして入って来ると、そこに**婚礼の礼服***を着ていない人が一人いた。

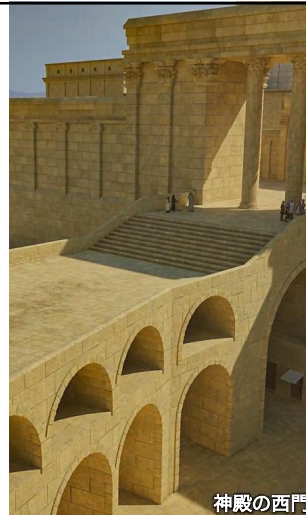
王はその人に言った。『友よ。どうして婚礼の礼服を着ないで、ここに入ってきたのか。』しかし、彼は黙っていた。

*招待者が準備。

所持していない人は、着替えてから会場へ

- あえて礼服を着ていない!!

→王への無礼。反抗の明確な意思表示



神殿の西門

23

① 当たり前前に 裁き 22:13～14

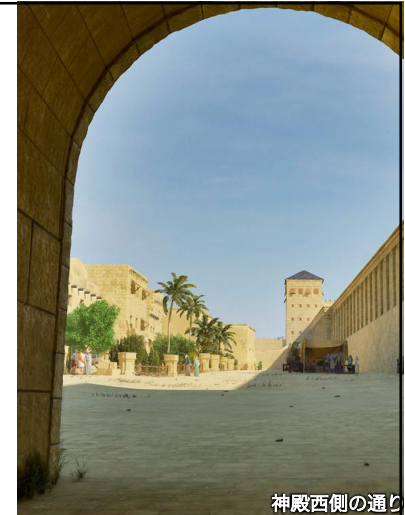
そこで、王は召使いたちに言った。

『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて**歯ぎしりする***ことになる。』

招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないのです。』

*終末の裁きの表現(5/6回はマタイ)

- 通りから招かれた者たちでも、
裁かれる者がいる。



神殿西側の通り

24



25

②解説を聞く 披露宴のたとえの難しさ

- 説明がないと理解しがたいのが、たとえ話。
- このたとえには、主イエスの直接の解説がない。
- 弟子たちには、理解の手がかりは与えられているはず。

読み解くヒントは、類似したたとえに!!

26

②解説を聞く 披露宴のたとえ 読み解くヒント

- たとえを読み解く上で重要なのは、結末。
『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて歯ぎしりすることになる。マタイ22:13』
- “泣いて歯ぎしりする”
…マタイに6回、ルカに1回(マタイと並行)
…いずれも終末の裁きのたとえの結末

メシアの語られる終末預言に注目!!

27

②解説を聞く “泣いて歯ぎしり”に至る 六つのたとえ

聖書箇所	内容・文脈	滅ぶ者	
マタイ8:12 (ルカ13:28)	異邦人の百人隊長の 信仰の称賛	御国の子ら (不信仰のイスラエル)	イスラ エル
マタイ13:42	毒麦のたとえ	毒麦 (神の国・教会内の不信仰者)	教会
マタイ13:50	底引き網のたとえ	悪い者 (神の国・教会内の不信仰者)	教会
マタイ22:13	披露宴のたとえ	礼服を着ていない者 (神の国・教会内の不信仰者)	教会
マタイ24:51	留守番のしもべの たとえ	悪いしもべ (艱難を生き残った不信仰者)	イスラ エル
マタイ25:30	タラントのたとえ	怠け者の悪いしもべ (神の国・教会内の不信仰者)	教会

28

②解説を聞く **披露宴のたとえの流れ**

①王が賓客を招待 →無視	…預言を無視	律法時代
②準備後の再招待 →拒絶・裁き	…捕囚、都の陥落 BC586 AD70	
③無差別に招待	…世界宣教	教会時代
④礼服を着ていない者への裁き	…偽信者の裁き	

律法時代～教会時代～大難難時代～再臨まで

29

②解説を聞く **二つの時代の不信仰者**

①律法時代 …預言者を無視、迫害 →バビロン捕囚
メシアを拒絶 →エルサレム陥落

②教会時代 …世界宣教(イスラエルと異邦人へ)
地上の教会には信仰者と不信仰者が。
→不信仰者は、永遠の滅びに!!

「招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない」

30



③適用する ～今のわたしにつなげよう～
エルサレム・神殿の丘

31

③適用 **大きな意味をとらえよう**

■たとえ話を理解するポイントは、
→主張の中心をとらえること!!
→たとはたとえ。あくまで影、実体ではない!!
細部の意味を追うと、本筋からずれる

■披露宴のたとえの結論は？
「招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない」

主に選ばれる者になりなさい!!

32

③適用 主に選ばれるためにどうしたら？

■披露宴に招待される＝神の国に招かれるためには？

→神の招待に応えること

①律法の時代には、律法・預言者によって招待

②教会時代には、キリストの律法・使徒によって招待

→今の時代の招待状は、主イエス・キリストの福音

福音を信じた者は、神の国に招き入れられる

33

③適用 礼服を着た、真の信者になっている？

■キリストの十字架の死と復活の福音を信じて救われる。

■しかし、最大の問題は、信仰は目に見えないこと。
本当に信じているかどうか。神の目にしか分からない。

■地上の教会には、信者と偽の信者が混ざっている。

どうしたら、真の信者だと確認できる？

34

③適用 実を結んでいるか？

■信じた者には、聖霊が内住されている。

■聖霊に満たされて行く。自分の思いを主に委ねて、
私たちは、聖霊によって変えられていく。

■どうしようもない自分が、変えられて行っているか。
誰かに伝道しているか。日々、喜びと感謝があるか。

信仰の実を日々結んでいっているだろうか？

35

③適用 招待された恵みの深さを味わい知ろう

■何の資格もない者を、主が招いてくださった。
主が、すべてを備えられ、招き入れてくださっている。

「私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整いました。
どうぞ披露宴においでください」と。

■罪人の私のため、主が屠られたのは、愛するひとり子。
主イエスは十字架で死なれ、死を打ち破って復活された。

36

★ 主に選ばれた者になろう ★

- 資格のない私のため、愛する御子を十字架にかけられ、救いの御業を成し遂げられた、主の招待に応えよう。
- 「招待される者は多いが、選ばれる者は少ない」この時代の教会の現実を重く噛みしめよう。
- 主の招待に応え続けていこう。御霊に変えられていこう。主の招待状を携えて、世に遣わされて行こう。

37

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。
わたし しゅ しょうたい こた みくに えいえん たみ
私たちは、主の招待にただ応えて、御国の永遠の民とされました。
よろこ かんしゃ すく かくしん ふか もの みちび
喜びと感謝をもって、救いの確信を深めていく者と導いてください。
しゅ しょうたいじょう たずさ つかわ しゅ みち ひら
主の招待状を 携えて遣わされます。主が道を拓いてください。
かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

38